



藤居重啓撰

湖中産物圖証

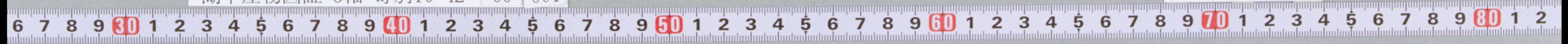
三卷

1
3283

10
42

湖中産物図証 3軸 寄別10-42 00-001

国立国会図書館





湖中産物圖證卷之上
下

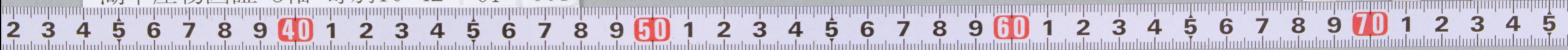
別冊

湖中産物圖證

1
3283

湖中産物図証 3軸 寄別10-42 01- 001

国立国会図書館





卷 1
328

湖中産物図証

湖魚図説第一上

鯉魚 碓

江州彦根

藤居

重啓撰



六卷 八冊
三四下

中島 書六下

湖中産物図証 3軸 寄別10-42 01- 002

国立国会図書館





鯉魚 雄

湖中産物圖證

湖魚圖説第一上

江州彦根

藤居

重啓



六卷ノ八ノ四

書六下

湖中産物図証 3軸 寄別10-42 01-003

国立国会図書館





本草綱目卷第四十四



湖中産物図証 3軸 寄別10-42 01-004

国立国会図書館





湖中産物図説
 湖魚図説卷第一上
 江州彦根
 藤居
 宣啓
 宣啓
 宣啓



湖中産物図説 3軸 寄別10-42 01-003 / 004

国立国会図書館



本草綱目卷第四十四卷

鯉魚雄

和名抄

一名 禪龍

柳環記

六六魚

錦鱗 龍公

子 飛魚

赤鯉公

以上五名共

李長史 赤

渾公

以上二名

魚主

金尺

李本

以上三名事

文鯉

赤鯉

以上二名

綱目釋名時珍曰鯉鱗有十字文理故名鯉雖

困死鱗不及白同集解蘇頌曰處之有足服其鱗道

後頭至尾無大小三十六鱗每鱗有黑點惟然

最佳故為食品上味又弘景曰鯉為諸魚之長形ノ

鯉魚ニアラサル一列仙傳ニ見エタリ次下赤鯉圖上具

サニ出込我リ琵琶湖中竹生嶋邊其深キコト七十尋

此邊ノ鯉鮒湖中第一上品ニシテ三十三鱗ナルモ多ク

事物異名ニ所謂赤魚是ナリ浅井郡田川及田郡相

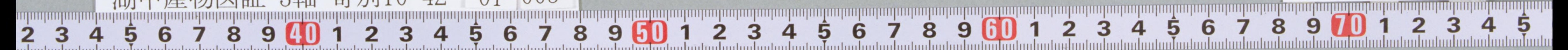
摸浦ノ堅細粟本郡山田浦勢田橋下ノ鯉皆共ニ上品

也又陳風曰豈其食魚河之鯉此魚ヲ貴フイテ詔ニ

知ル凡鯉ノ形状ノ頭窄ク眼勢ヒラ在シ瞳子威光有テ

凄トナラス又鼻孔アリ口中玉ヲ含カ如ク牙齒モ亦凄ト

ナラス口際。





二短影此二條左右ニ生シ唇肉肥眼邊及上^頤墨
 色類^頤頤ノ邊淡黒淡黄ノ二色斑雜ヲナス頤
 ノ下咽喉ノ下到リ物テ灰色ニシテ面貌^貌優シク
 *柔和ナリ脊鱗及服腹ノ鱗皆ニ黒色其鱗ノ
 端縁ハ淡墨土色服腹一道三十六鱗ナルモノハ一
 二鱗下ヨリ下夕腹ニ至リ黄金色ニシテ其脊服
 腹ニ映シテ自ラ金輝ヲ照ス此レ事物異名ニ錦
 鱗ト稱スルノ謂ナリ脊上ノ鱗淡墨色羊ヨリ末尖
 ニ至テハ黄金色勢ニ最凍ナリ服下ノ鱗服下ノ
 鱗皆^皆共脊上ノ鱗ト同色ナリ臍ハ殊
 ニ逞シク尾ノ水キリハ淡墨色ニシテ尖ハ金色中
 尖^尖ニ褐色ノ三道脈アリ腹^腹ヲ在ス味美也此魚竹
 生嶋邊ニテハ五尺ハカリノモノ時々浮游スルト云フ

R

三





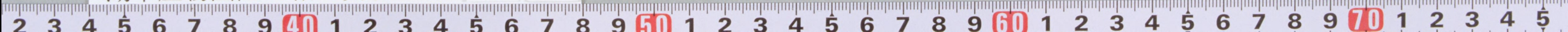
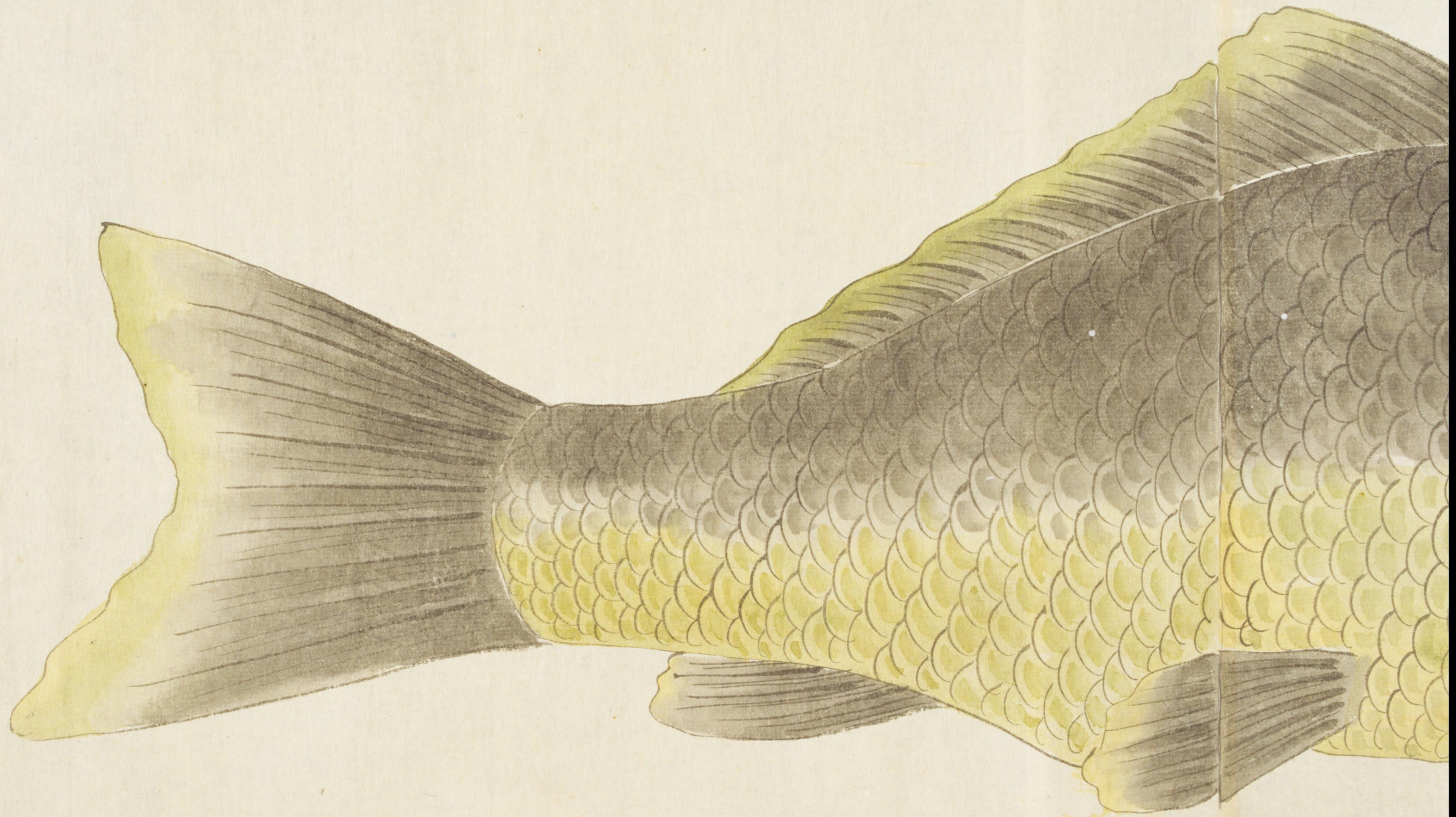
鯉魚
雌

R





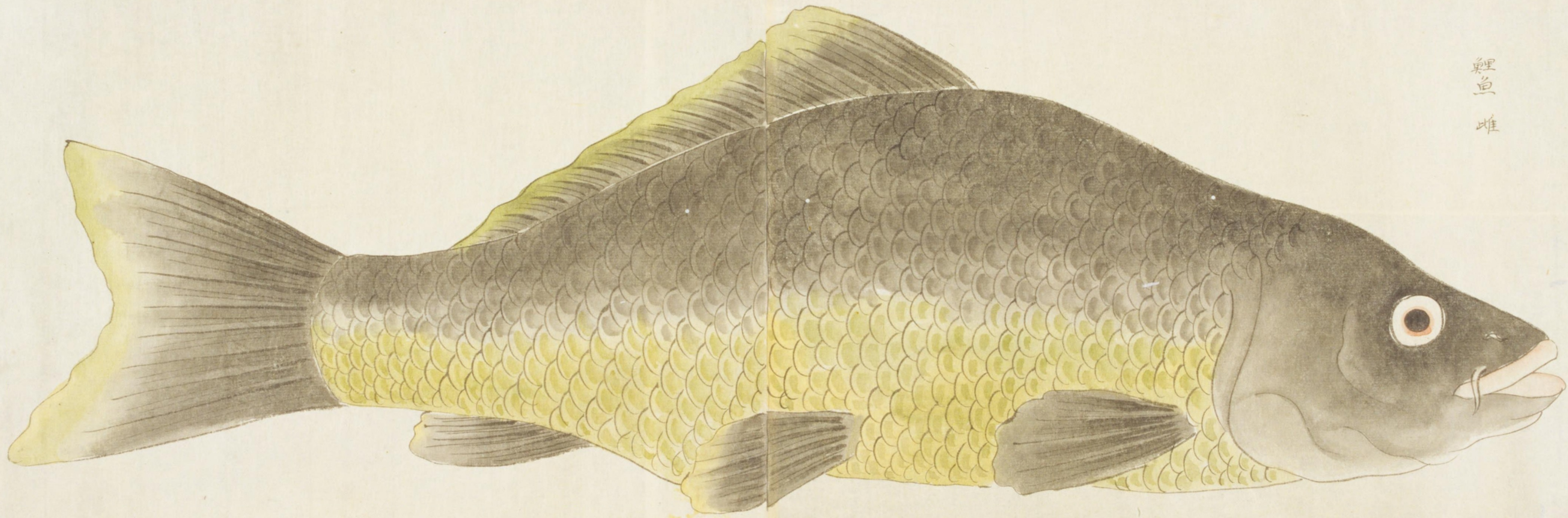
本草綱目卷第四十四卷
 鯽魚雄
 鯽
 資者切
 七十
 二
 十





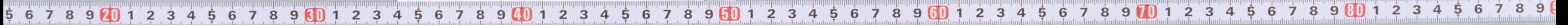
本草綱目卷四十四

鯉魚
堆



湖中産物図証 3軸 寄別10-42 01-007 / 008

国立国会図書館





本草綱目卷第四十四卷

鯽魚雄 鯽音資昔切

釋名 鯽魚音附

一名鮮干美 水族加恩簿

鯽正字通 鯽上鯽

鯽魚 東方列神異經

重啓按：鯽魚鯽魚俱：鯽字ヲ用エ時珍曰呂氏春秋

曰魚之美者在洞庭之鯽又大和本草及本草啓蒙等

引此語證リス予覽呂氏春秋無所見鯽字其本味篇

曰魚之美者在洞庭之鯽鄭玄步東海之鯽ト云其字

本書ト異ナリ近見古文苑周宣王石鞞文曰帛魚鯽

、蘊氏鮮黃帛其鯽又鯽又帛〇注云鄭云鯽步

自及魚名薛作鯽鯽鄭云今作鯽作音附云又鄭云

鯽並呼及今後專云又山海經ノ鯽者同名異物ナリ凡

此鯽魚ヲ湖邊通ジテハテフト呼ヒ又フナト呼其狀頭

小ニテ短ク眼中優ニ唇尋常ニシテ凄ナラズ腮黃色ヲ帯ヒ

脊高ク起リテ惣鱗幅廣ク其鱗乱曇ニシテ鯉魚ノ如ク正シカ

ラス色ハ淡墨色ニ白色ヲ帯ヒ脊鱗淡墨色ニ紅紫ノ二色ヲ雜

へ腋鱗及腹下ノ鱗臍ノ鱗皆若シ淡墨紅紫ノ雜色ニシテ美

彩深ク鱗ノ形ハ圓扁ニシテ鳳子蝶或ハ鬼蛭ノ形ニ似テ秋ニ到リ一倍

美麗ナリ故ニ鱗蝶鯽ト云一説此亦美稱ノ言ナリ凡此魚數軒膾

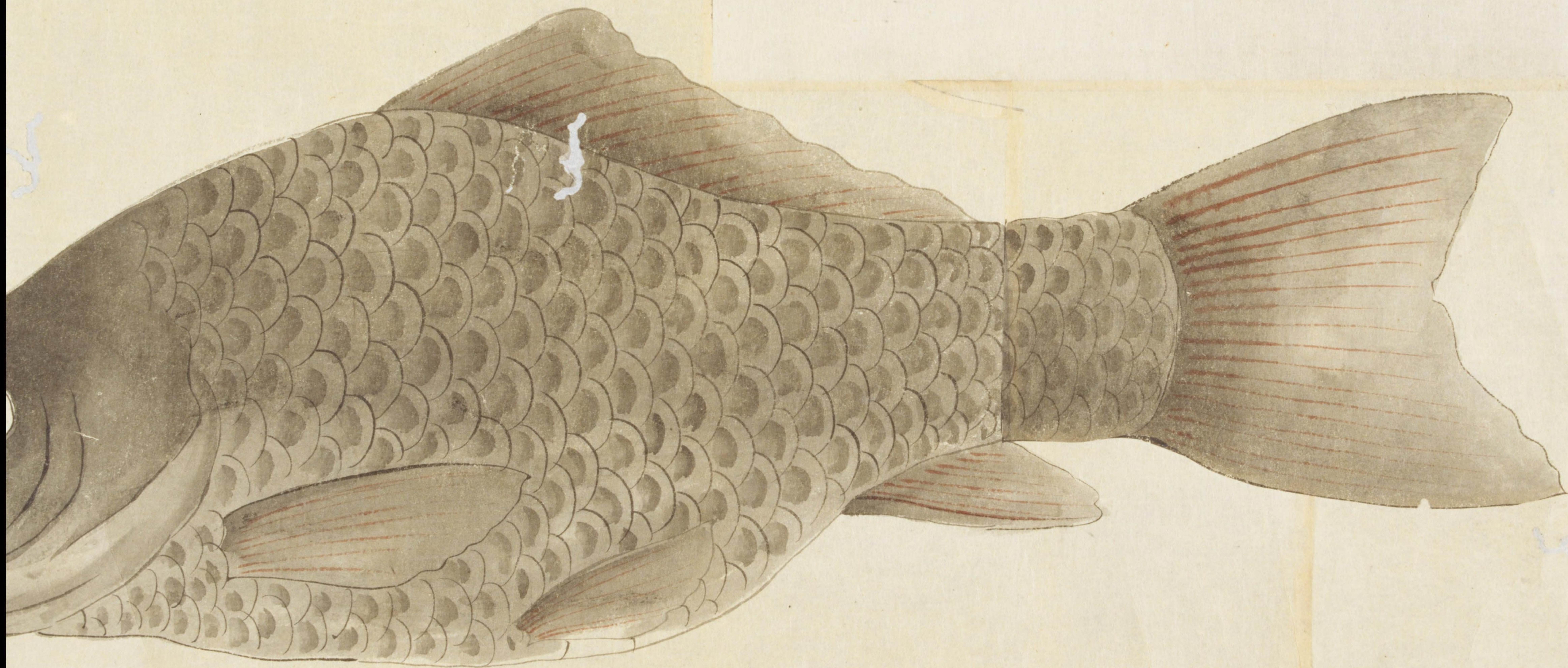
ハナスニハ雄雌ヲトリ合テ鯽ヲ散シタルモ膾ノ上呂トス珠ニ冬月ヨリ春

三月間ヲ賞觀ノ時トス此即源五郎鯽ノ雄ナリ

字典云鯽石鼓文又
鯽又鯽釋音附鄭
氏之今作鯽音附鄭
公於呼及今文从鯽

フナ
源五郎
沖之行邊ニ往合ヤ味ガ
為カスナトレルモフニ
ツカフナ万葉集





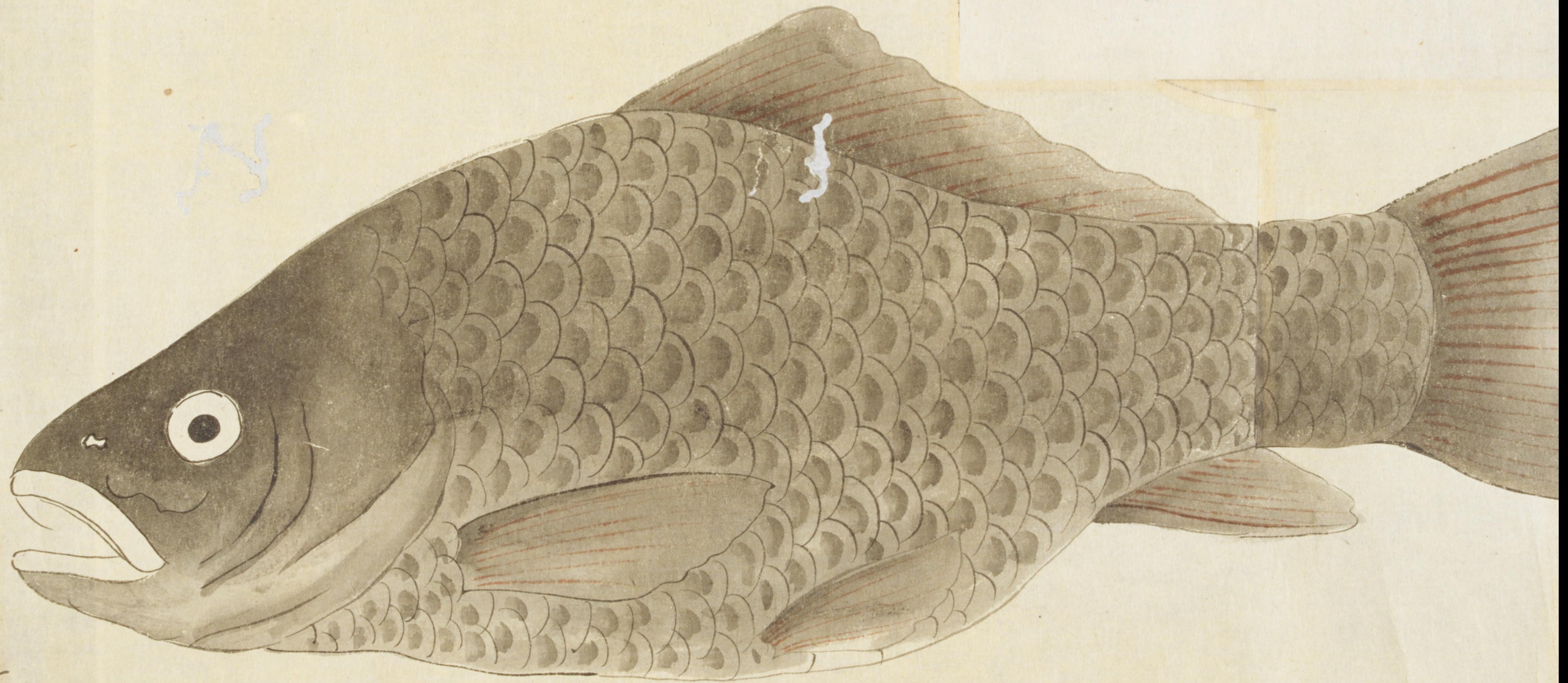
三月向ヲ賞観ノ時トス此即源五郎斬ノ雄ナリ

五

湖中産物図証 3軸 寄別10-42 01-010

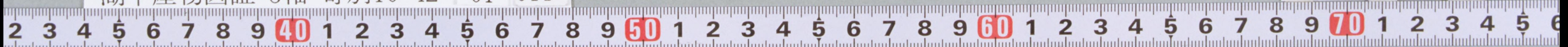
国立国会図書館

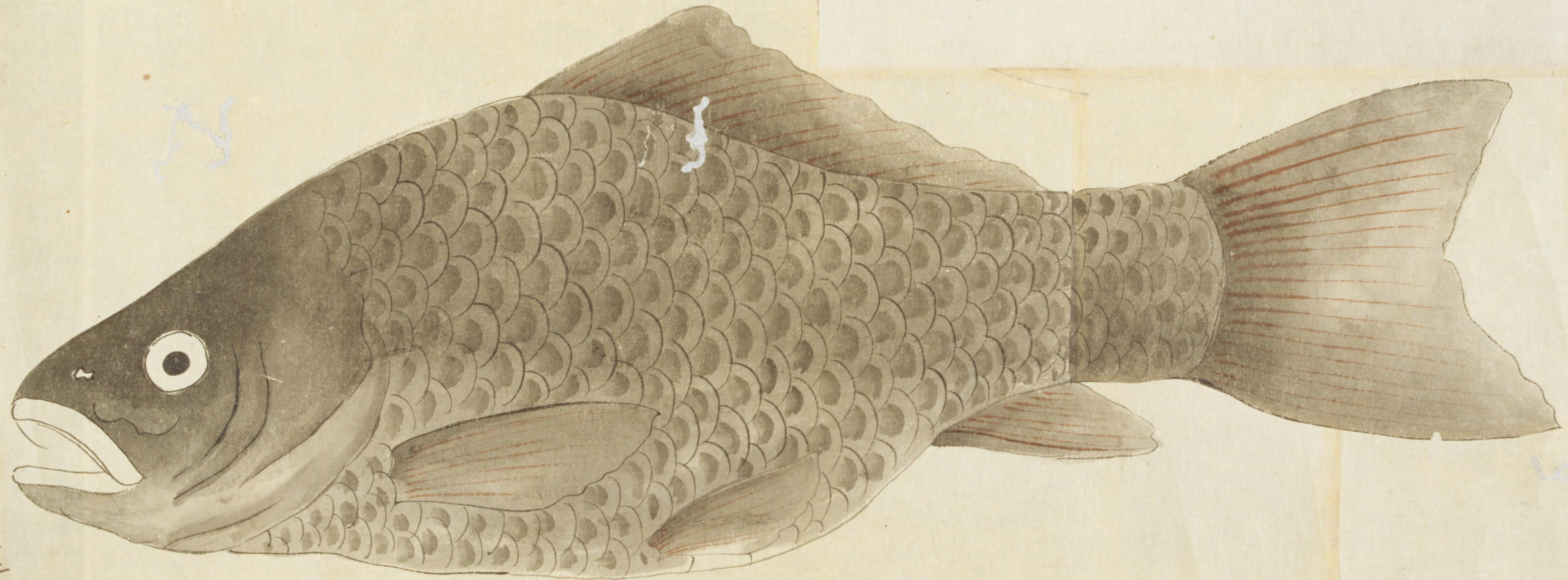




鯽魚ノ雄
 鮮鯽銀絲鱗
 香芹碧洞美
 作唐鄭廣文
 杜子美

十三





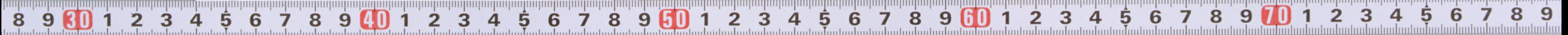
昂
魚
生
羊
昂
吳
書
會
川
小
池
平
人

十三

五

湖中産物図証 3軸 寄別10-42 01-010 / 011

国立国会図書館





鯽魚ノ雄

鮮鯽銀絲鱠

香芹碧洞羹

作鄭廣文
杜子美

重啓按ニ凡メブナノ形状ハ大ク眼下一尺五寸許脊ヨリ下腹ニ到

リ廣七八寸最大ナルモノハ眼下二尺許ナルモノ偶稀ナリ其頭方ニ

見ヘ眼大ニシテ雄ヨリ津々鱗並丸行シテ其色淡墨色腹

鱗腹下ノ鱗脍ノ鱗皆若シ薄墨色尾ハ岐アリテ脍ハ太ク夕夕ニ

テ幅廣ク水キリハヒレト同色ナリ下腹ハ灰白色ニシテ銀光澤

ヲ有ス冬月ヨリ鯽ヲ孕ム春上巳ノ頃止合許最上大ナルモノ六

七合ヲ孕ム此ノ鯽煮レハ丹色トナル其孕ムル卵ヲ散ジタル魚ヲヘリ

カフト云又カフト云此レヲカフト呼ブハ否ラズカマハ別ニ種ノ鯽ニシテ

本條ヲ出ス凡此魚雄雌若ニ牙齒ナク水垢汚泥ヲ喰ヒ其外雜物ヲ

食セズ故ニ此レヲ食シテ脾胃ニ益アリト時珍説ニ見ヘタリ雄雌

通シテ源五郎鯽トシレ此雄ナレモノヲ源五郎鯽ト呼ビ雄ナレ

モノヲハテヲト呼コト通治トナレリ此源五郎ト呼ビ古キ子細アリ

州内浅井郡片山浦源郎ナルモノ古 右大将頼朝公ハ此鯽ヲ献

上ス其後今ニ到リ子孫相統ノ御民ニシテ此レヲ以テ家系トス

如此古実アル名産ナリ此片山浦竹生嶋ヲ去ルコト僅ニ十里此

邊ノ諸魚他浦ニ勝リタル上品ナリ又按徒然草ニ春

三月鯽ノ頭ニ毒アリト云又此レヲ注解スルノ書数家雖然皆

信スルニ足ラス我湖上ニライテ此毒ニ害セラレシト古今見

聞ノ汝汰ナシ

本草綱目卷四十四 鯽魚附録





本草綱目卷四十四

鯽魚附錄

鯽魚

ニゴロ 似上郎 即源上郎フナ
ニ似タルノ謂

孟詵曰一種鯽魚與鯽類同シト云々 童啓按ニ其状頭

ホク 雙眼ノ間ノ鼻梁骨凸形ノ節アリテ眼ナリ惣

鱗 淡墨色ニシテカ

光澤ヲ見シ脊隆起シ

テ鱗ノ下以下全軀細ク

狭小ニナリ脾細ク尾ノ水

キリハ鯽ニ似タリ色ハ鱗色ニ

髣髴タリ諸ノ鱗亦同色此魚

四時共漁ス冬月膾ニ調ニ甚宜

又夕煮テ更ニ美ナリ此魚ノ容

一畝ニ供スル

モノ多シ故ニニゴロナリ 鯽魚

此説極當ナラス凡

此魚ノ大ナルモノ一尺

二三寸許タルモノハ源上郎

鯽ニ似タリ故ニ似上郎

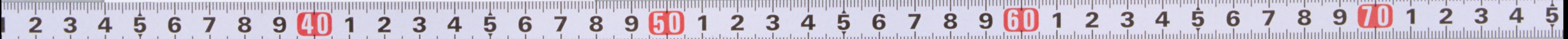
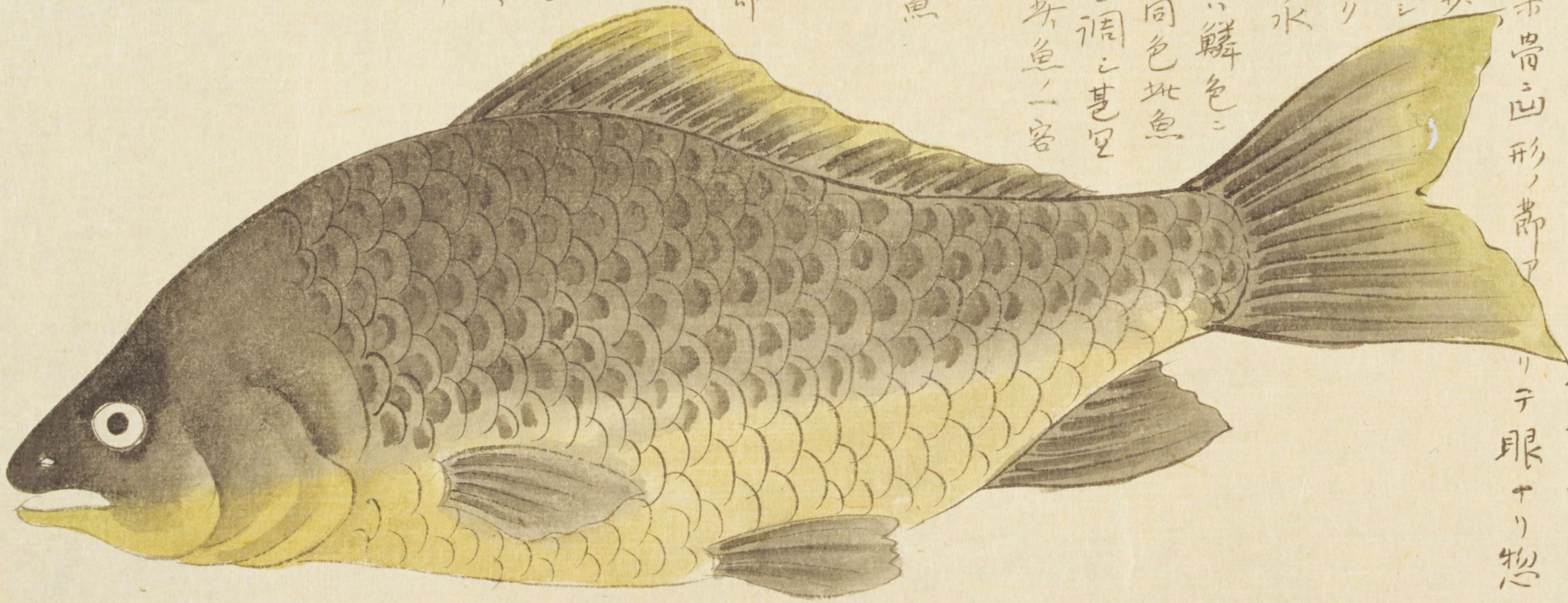
ト呼ト云ノ説ヲ優レリト

ス集解孟詵ノニ寛大

ナルモノ是鯽狭小ナル

者是鯽也ト云モノ、

其鯽ハコレニゴロナリ





モミナブナ

十

十五

湖中産物図証 3軸 寄別10-42 01-014

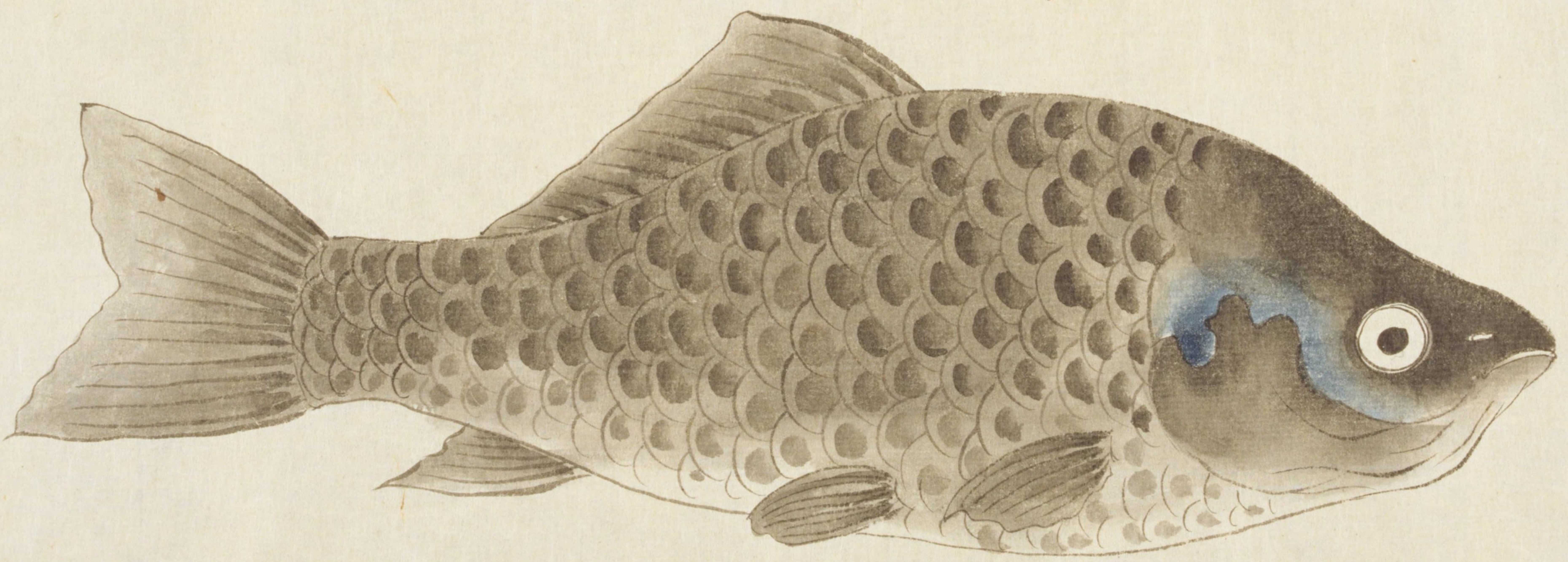
国立国会図書館





モミケ 鮒 即 鯽 魚 別 稱

モミケ 鮒ハ 秋ヨ 出ル 鯽 魚ノ
肉肥ハ 血氣内ニ 満盛ナル 鮒
魚者ノ 干ニ 入テ 後 甚 血 鱗
次 間ヘ 溢レ 出 見ハレ 紅 色
斑 雜ニテ 美ハシ 時ニ 秋ナリ 其
美 色 樹 間ノ 紅葉リ 遠 望ス
ルカ 如シ 故ニモミケノ 雅 稱アリ
寔ニ 中ニ 到リテ 更ニ 佳ナリトス
又 余 吾 湖ノモミケヲ 其 味
スル 処ノ 趣 意 別ニ 傳アリ 余
吾 湖 魚ノ 部ニ 委 見エタリ

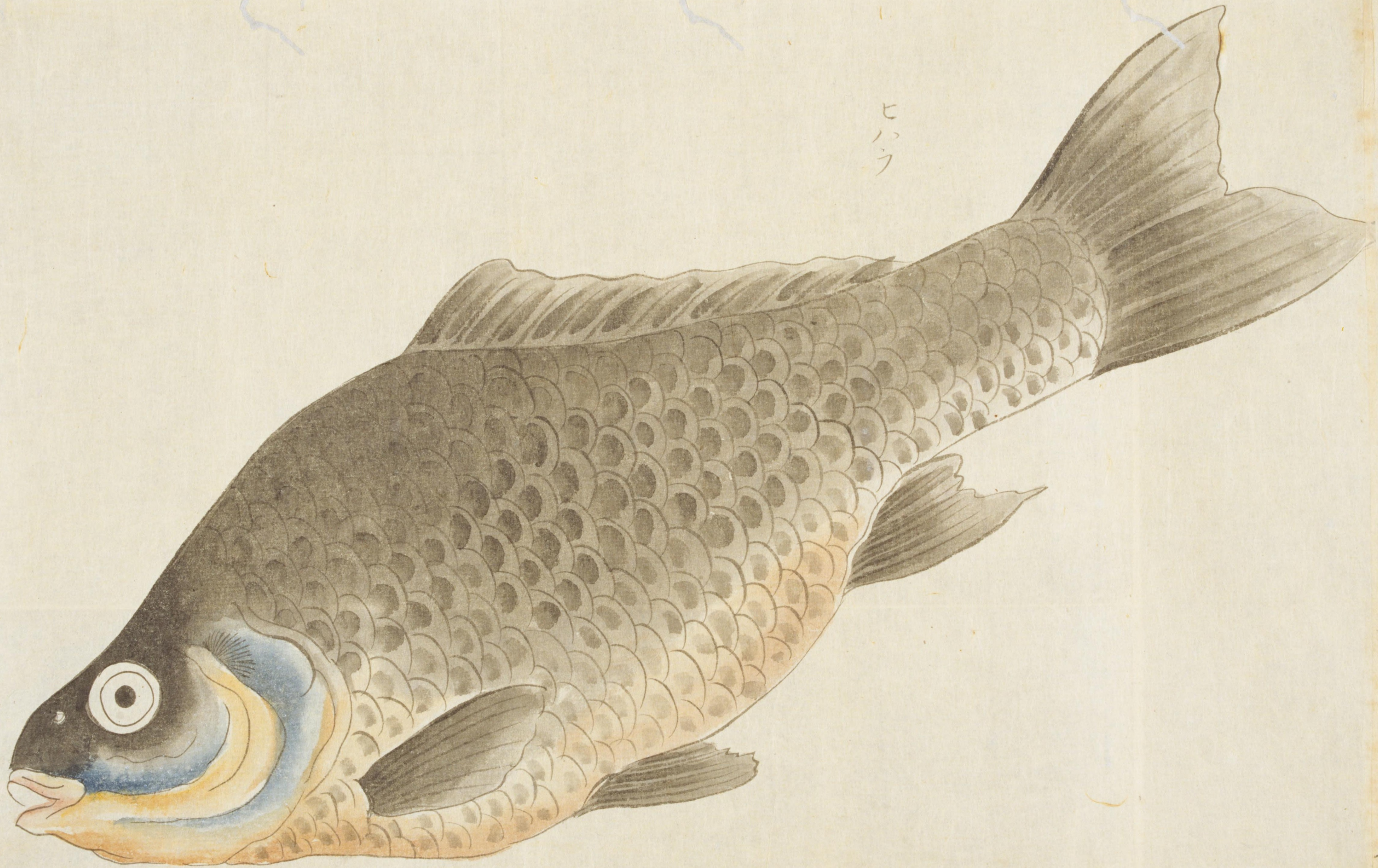


カマ

十七

十六





ヒハ
ラ

十八

十七

湖中産物図証 3軸 寄別10-42 01-016

国立国会図書館



鯽魚ノ類

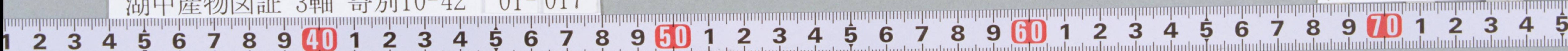
カマ

凡ニコロブナノ雄ヲサシテカマト呼ぶ或ハ雌ノ既ニ卵ヲ
 散シタルモノヲカマト呼フ皆雌也カマハ別ニ一種ノ魚ニシ
 テ形状大ニ異ナリ其状頭小ニシテ鼻上ヨリ雙眼ノ向
 ニ到リ及曲ラナシ眼邊腮皆藍色ニシテ其色脊鱗ニ流
 レ腮ハ五枚重リテ屈曲シテ折カサキ及リ惣鱗ハ淡墨色下
 腹灰色脊腹四ヶ処ノ鱗淡墨色筋刺ハ桃瓦色臍モ亦少シ
 テ同色ニシテ其美新見ルニ堪タル魚ナリ四時共沖ノ水底ニ
 遊シテ磯近クヨリトナシ夏月禘天網ニ入湖邊ノ輩此
 魚ヲ見サルモノコタシ此カマトヒラト雄ニシテカマハヒラ
 ノ雄ナルモノナリ又魚家ノ俗言ニ此魚ノ形鎌ノ形ニ似タル
 ナリ以テカマト名クト云是ナルヤ否ヤ

ヒラウ

一種ヒラトナリ其状首小ニシテ面貌優シク藍紅白ノ
 雜色ニシテ其間ニ白銀砂ヲ散シ眼ノ先キニ凹込ノゴトキ
 一穴左右俱ニアリ即鼻ナリ鱗ハ墨色鱗端其色カシ淡シ
 脊鱗尾同色腹鱗臍ノ鱗ハ墨色ニ紅色ヲ在シ腹下及
 下腹皆紅色ナリ故ニ緋腹ナリ俗ヒラト呼此レカマト雄
 ニシテ雌ニ即カマノ雄ナルモノナリ小魚ハ冬ヨリ出ル如ク尺餘アル
 モハ三四月網ニ入ル然レヒコレナリ

コイナ





本草
本綱目第四十四卷

鯽魚ノ一種

鯽コイナ

綱目集解保昇曰鯽所在
池澤有之形似小鯽色黑而
體促壯大而脊隆大者至三
四尺

鯽魚ノ一種コイナト名ヲ呼ブ魚

アリ其狀鯽魚ニ似テ鱗

黒ク頭ハ鯽ナリ春夏ノ隆大

上郡ハ汝浦ニテ尚細

ニ入ル古ヨリ鯽コイナト

書テコイト訓スト

方大ナルモノ一尺四五寸ニ

到ル味ヒ白魚ニ似テ

ツリアリテ其美ナリ保

昇集解ニ説クトコロ

ノモノハ此魚ナリ



コイナ

十九

